



凡事徹底

当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校
学校だより
平成30年度
第5号（7月末号）

根岸踏切での出来事

校長 荒川 順一

京浜東北線に踏切があるのをご存じでしょうか。王子駅と東十条駅の間には二カ所あり、本数の多い京浜東北線と宇都宮線、高崎線が通過するため、待ち時間が長く、「開かずの踏切」と言われているそうです。また、開いてもすぐに遮断機が下りてしまうため、注意が必要な踏切なのです。

そのうちの一つである「根岸踏切」での出来事でした。徒歩で渡たろうとしたところ、後ろから高齢の女性と荷台のシートに子供を乗せたお母さんがそれぞれ自転車に乗って渡ってきました。しかし、タイミングが悪く、途中で「チンチンチン」と音が鳴り、遮断機が下り始めてしまいました。私はどうにか渡り切りましたが、2台の自転車は踏切内に取り残されてしまったのです。片手で自転車を支えながら、もう一方の手で、下りてしまった遮断機の棒を持ち上げるのが難しいようで、二人はなかなか踏切の外に出ることができませんでした。すぐに私は、遮断機の棒を持ち上げ、踏切の外へ出られるように手伝ったところ、自転車の二人より、「ありがとうございました」と、ていねいにお礼の言葉をいただきました。その後、高齢の女性が、「優しい人がいてくれて助かった」とおっしゃったのを耳にしました。

私の行ったことは当然のこと。それに、遮断機の棒をほんの少し持ち上げただけ。大したことはありません。しかし、「ありがとうございました」、「優しい人がいてくれて助かった」の言葉が、一日中、頭に残り、とっても幸せな気分でした。その日は、自然と笑みがこぼれてしまうほどでした。

言葉の大きさを実感した出来事です。一言で他人を幸せにし、また、深く傷付けてしまうこともあるのでしょうか。言葉を、大事にしたいものです。相手の気持ちになって、お互いの人間関係にプラスになるような言葉かけをしましょう。

広げよう、あいさつの輪を！

二中の1年生が、西小と北小で、あいさつ運動（7月9日～13日）を実施。登校する小学生に笑顔で元気のよいあいさつを行ってきました。その様子を見届けた後に学校に戻ると、校門で生徒会本部役員が、そして、生徒昇降口前で有志の3年男子が独自にあいさつ運動を行っていました。また、「ふれあいデー」には、PTAの方にも参加いただき、全職員で取り組んでいます。みんなで、あいさつの輪を広げていきましょう。



【保護者の皆様へ】

これから、いよいよ夏休みに入ります。お子様の生活習慣が乱れないようにご注意ください。もし、心配なことがございましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。土日及びサマーフレッシュウィーク（8月13日～16日）以外は、日直がおります。サマーフレッシュウィーク中の連絡につきましては、蕨市教育委員会学校教育課（TEL433-7728）にお願いいたします。

《学校教育目標》

自ら学び、深く考える生徒	（知）
心豊かで、思いやりのある生徒	（徳）
たくましく、健やかな生徒	（体）

蕨市立第二中学校

電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671
URL：http://warabi2.com/
e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp